

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【香港駐在員事務所】

今後の訪日旅行について

1. はじめに

香港では昨年末から新型コロナウイルスの感染（第 5 波）が拡大しました。感染者数を抑え込むため、3 月に入り香港政府が全市民を対象とした強制検査時にロックダウン（都市封鎖）に踏み切るとの観測が強まり、スーパーマーケットでは食品を買い込む人が増え、一時野菜、肉類、パン、麺類、冷凍食品等さまざまな商品が売り切れになりました。3 月 21 日に強制検査の実施を見合わせると発表があり、その後状況は落ち着きました。4 月に入り、全世帯に抗原検査キットやマスク等が入った防疫グッズが配布され、4 月 8 日から 10 日まで 3 日連続で全市民を対象とした任意の抗原検査が行われました。これは強制検査の代替ではなく感染者数の全体像を把握するために実施されたもので、検査で陽性の場合のみ政府が運営する自主申告サイトに報告が求められましたが、感染者数の大幅な増加は見られませんでした。第 5 波のピークは 3 月 3 日で 1 日当たりの感染者数 56,827 人を記録しましたが、それ以降は減少傾向が続いており、街中に人出が戻りつつあります。

今回はコロナ禍における香港人の余暇の過ごし方や海外旅行再開後の訪日旅行への影響についてご紹介いたします。



スーパーマーケットの様子（筆者撮影）



街中の様子（筆者撮影）

2. コロナ禍における香港人の余暇の過ごし方について

コロナ禍でこの2年あまり海外旅行ができない状況が続いていますが、代わりに香港内で余暇を楽しむ方法を見つけています。

中でも密を避けながら楽しめるレジャーが人で、元々愛好者の多かったハイキングやサイクリングの他、キャンプ、グランピング、魚釣り等のアウトドアを楽しむ人が増えています。アウトドアショップには多くの人が訪れ、各地に新店舗がオープンしています。

また、家で過ごす時間が長くなったことから、おうち時間を楽しむために犬や猫などのペットを飼い始める人が増えています。最近はペット入店可の飲食店が増え、ペット同伴で食事を楽しむ人をよく見かけるようになりました。4月21日からは新たに62カ所の公園がペット連れの利用者に開放され、今ではペット同伴で利用できる公園が100カ所あまりに増加しています。

その他には、香港内でリゾート気分が味わえるステイケーションや、第5波発生前までは無寄港クルーズも人気を集めていました。



ハイキングを楽しむ人々（筆者撮影）



アウトドアショップの様子（筆者撮影）

3. 今後の訪日旅行への影響について

新型コロナウイルス発生前から香港人に人気のある「和食」、「温泉」、「観光」は根強いですが、コロナ禍でアウトドアを楽しむ人やペットを飼う人が増えたことで、今後の訪日旅行に影響がありそうです。

例えば、豊かな自然を満喫しながらリゾート気分を味わえるアウトドア中心のプランや動物にまつわるさまざまな場所を巡るプランは、現在の余暇の過ごし方の延長線上にあり、日本に行けば更に多様でスケールの大きい体験ができるということであれば、興味を持つ香港人も多いのではないのでしょうか。

また、香港人の特徴として、親戚一同や複数の家族と一緒に旅行することが比較的多く、子供たちがいかに楽しめるかは旅行プランを決める上で重要な要素の1つです。動物園、水族館、博物館、美術館、歴史的建造物、乗り物は子供たちが楽しみながら、学びの機会を得ることができます。香港には本格的な動物園、水族館が1カ所しかありません。日本

人には身近な存在で特別なコンテンツに映らないものが、香港人にとってはポテンシャルが高く、魅力的に感じる場合もあります。このような子供世代向けプランもニーズがあるのではないかと思います。

新型コロナウイルスの影響で話題になったワーケーションも今後の新たな旅行スタイルとして注目されます。香港においても、密を避けるための新しい働き方としてテレワーク（在宅勤務）が広がりました。今後、通信環境が整備された旅先で仕事と休暇を両立することができれば、訪日旅行の滞在日数の長期化に繋がる可能性があります。

4. おわりに

コロナ禍で訪日旅行ができない中、現地旅行会社が新たな取り組みとして、EC サイトや実店舗で日本の魚介類、和牛、果物、菓子、スイーツ、日本酒、伝統工芸品等を販売しています。香港にいながら手軽に商品を購入できることから、相応のニーズがあるようです。

しかしながら、日本好きの香港人はそれだけでは物足りず、1日も早く訪日旅行ができる日を待ち望んでいます。私の知り合いの香港人からも海外旅行ができるようになったら、まず日本に行きたいという声をよく耳にします。

一方、受け入れ側の日本では観光振興による地域活性化は、地元の雇用創出、経済効果に繋がると期待されています。インバウンド需要の回復にはまだ時間がかかりそうですが、訪日旅行者の受け入れに向けた準備（多言語表記、通信環境、キャッシュレス対応等）を進めることは持続可能な受入環境を整備する上で重要になります。

山口フィナンシャルグループではインバウンドに興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせ下さい。

（山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博）

【参考文献】

- ・日本貿易振興機構（JETRO）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/04/f724e9d705df28e0.html>
- ・The Daily NNA 香港&華南版
全員検査時にロックダウンか（2022年3月2日）
- ・The Daily NNA 香港&華南版
遠ざかる本土との往来正常化（2022年3月23日）
- ・The Daily NNA 香港&華南版
市民に3日連続で抗原検査（2022年4月4日）
- ・The Daily NNA 香港&華南版
ペット同伴可の公園、100カ所超に（2022年4月20日）
- ・EGL Market
<https://www.eglmarket.com>